



厳しい寒さが続いておりますが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。日ごろよりいじめの防止等の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

最近、いじめが原因となって起こった事件等に関する報道が毎日のように取り上げられています。いじめはいつどこで起きるか分かりません。サポーターの皆様には日常的にいじめ防止の意識を持っていただき、子どもたちを見守っていただくことや、いざという時に学校や専門機関等へ通報していただきたいと存じますので、今後ともご協力をお願いいたします。



また、サポーター制度にご登録いただいた際に、お願いいたしました「別紙 報告書」につきまして、ご記入いただき、同封の封筒にて3月22日(水)までに投函くださるようお願いいたします。

【いじめ防止関連ニュース】

●「いじめのない学校づくり子ども会議」(11/14)が開催されました！

各小中学校の代表が集まり、いじめをなくしていくために子どもたち自身ができることについて活発に議論しました。

小学校部会では人と人とのコミュニケーションを大事にしようという意見がまとまり、各学校での取り組みを自分たちの学校でも生かしていくことに決まりました。



「オレンジリボンキャンペーン」

針ヶ谷小の取り組みの一つです。いじめをしないという宣言をした人が、名札の中に**オレンジ色のリボン**を入れてそのPRをするというものです。こうした地道な取り組みがいじめの起こりにくい学校や環境を作っていきます。



中学校部会では東中の「いじめナシの木」という実践がピックアップされ、市内6中学校で行うことが決まりました。これはいじめ防止のために生徒自身が何が出来るかを宣言し、梨の実の形をした紙にそれを書き込み、木に貼り付けるという取り組みです。

●中学生が「ネット利用・私たちのルール」をつくりました！

近年、子どもたちの間でネットトラブルやネットいじめが増加してきています。特に、無料通話アプリ「LINE（ライン）」等SNSが原因となるいじめが大きな問題となっています。これまでのネットいじめは検索すれば大人が見ることができました。しかしLINEいじめは外部から見ることができず、証拠も削除できてしまうため、悪質ないじめにつながる可能性があります。

このような中、「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルール』づくり」研究校の指定を埼玉県教育委員会から受け、市内の本郷中学校がルールづくりに取り組みました。

現在、市ホームページでは本郷中学校の皆さんが作成した「ネット利用・私たちのルール」が公開されています。サポーターの皆さんもぜひご覧いただき、子どもたちへの周知・注意喚起をお願いいたします。

「本郷中学校 ネット利用・私たちのルール」

<http://www.city.fujimi.saitama.jp/35miru/01kyouiku/syouchugaku/2017-0217-1306-68.html>

富士見市いじめ問題対策連絡協議会 公開講座の参加者募集しています！

日時：3月17日（金）午後1時30分～3時

会場：鶴瀬コミュニティセンター第三集会室

内容：「子供はなぜ繋がりがたがるのか」

*講師（一社）インターネットユーザー協会講師

参加を希望する方は子育て支援課までお電話ください！



【いじめの統計データについて】

いじめの認知件数については、平成27年度の件数は過去最大となりました。しかしこれはいじめを積極的に認知していくという方針によるものです。小さいいじめも「いじめ」と認知し大きくなる前に解消していくことが必要とされています。

学年別認知件数は、**小学校高学年から中学2年生**が多く、また、いじめ発見のきっかけとして、少数ではありますが「地域の住民からの情報」というものがありました。いじめの様態としては、**冷やかしゃからかい**が一番多く、暴力なども含めて直接的ないじめが多くを占めています。

いじめは発生しやすいスポットがあるとされています。学校外では、**登下校中**が一番多く、塾や家の近所、地域クラブといった場所でも発生しています。また、時期としては**5～6月と10～11月**に増加する傾向にあるようです。

サポーターの皆様におかれましては、これらの傾向に注意していただき、引き続きいじめ防止のための活動、ご協力をお願いいたします。

【参考】文部科学省『平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」』（2016）

森田洋司ほか『日本のいじめ』（金子書房、1999）